



「ふれあい月間」を振り返って

校長 小山 夏樹

東京都では、毎年6月と11月を「ふれあい(いじめ防止強化)月間」として、いじめや不登校、暴力などの問題行動を未然に防止し、子供たちの健全育成を目指す取組を行っています。本校では、「ふれあい月間」だけでなく毎月「いじめアンケート」を実施し、軽微ないじめも見逃すことなく、いじめの早期発見・早期解決に努めています。また、毎週1回生活指導担当の教員が「学校いじめ対策委員会」を開き、いじめ問題の経過報告や新たないじめの対策等を検討しています。いじめアンケートや学校いじめ対策委員会で報告されるトラブルの一つに、オンラインゲームとラインに関することがあげられます。本校では、昨年12月に「オンラインゲーム等についてのお願い」(ホームページの学校からのお知らせを参照)を配布したり、保護者会で「ゲームを許可する責任、スマホを持たせる責任」についての話をしたりしてきました。さらに、5月の授業公開において、5・6年生のセーフティー教室として「スマホ・ケータイ安全教室」を開催し、ネットやスマホの危険性についての啓発をしてきました。しかし、残念ながら、年齢制限(15歳以上対象等)が付いているバトルロワイヤル系ゲームでの不適切な言葉のやり取りや、そのことを理由にゲームに参加していた友達をライングループから削除する・削除された等の問題が、アンケート等を通して報告されています。

4年前にお知らせした内容になりますが、ここで再度「ゲーム障害」について触れたいと思います。私が子供の頃ゲームで遊ぶと言えば、野球盤や人生ゲーム等でしたが、ここ30年近くはテレビ画面を使う据え置き型ゲーム機や携帯型ゲーム機、通信機器を使用するオンラインゲーム等で遊ぶことが多くなりました。1980年代半ばに発売された「ファミコン」とゲームソフト「スーパーマリオブラザーズ」の大ヒットから始まったテレビゲームも、今では「フォートナイト」や「荒野行動」等オンラインで不特定の人と一緒にやるゲーム形態に変化してきています。

子供たちにとって楽しい遊びであるゲームですが、夢中になって遊ぶ子が増えると共に様々な弊害も発生してきました。2002年には、「ゲーム脳の恐怖」が出版されました。「テレビゲーム漬けになっている人は脳の回復が遅く、キレやすくなり犯罪に繋がる」というような内容で、ゲームが脳に与える悪影響を象徴的に表現した「ゲーム脳」という言葉が生まれました。また、2018年6月18日には、世界保健機構(WHO)がオンラインゲームやテレビゲームのやり過ぎで日常生活が困難になる「ゲーム障害」を新たに疾病として認定、依存症の一つとして「国際疾病分類」に加えました。「ゲーム障害」は、ゲームをしたい衝動が抑えられなくなり、日常生活よりゲームを優先し、健康を損なうなど問題が起きても続けてしまう特徴があると定義されました。家族や社会、学業、仕事に重大な支障が起き、こうした症状が少なくとも12か月以上続いている場合に診断できるとされています。

本校でも、「ゲームのやり過ぎで宿題を忘れた。」「ゲームを夜遅くまでやっていたために寝坊して遅刻した。」「ゲームソフトの貸し借りやキャラクターのやり取りに関わる友人間のトラブル。」等の困った事例が少なくありません。しっかりと学業に励むため、各家庭でゲーム機を使った遊び方の約束を再確認していただけるとありがたいです。【「時間を決める」・「ゲームの内容や誰とやっているかを把握」・「オンラインゲームの危険性を確認した上での使用許可」等】

～ 学校の様子 ～

体力調査・・・6月3日(月)～7日(金)

6月5日(水)、全校一斉に体力調査を行いました。この日の種目は、校庭で「ソフトボール投げ」「立ち幅跳び」、体育館で「反復横跳び」「上体起こし」です。高学年が低学年を支える体制のもと(1年生は6年生に、2年生は5年生に見本を見せてもらったり、数を数えてもらったりしました)行いました。その他の種目(50m走・20mシャトルラン・握力・長座体前屈)は、学年や学級で取り組み、今年度も無事に体力調査を終えることができました。



読書旬間・・・6月3日(月)～14日(金)

読書旬間に向けて5月30日(木)には、テレビ放送で図書委員の児童が低・中・高学年向けにそれぞれ「おすすめの本」を紹介しました。

読書旬間では、朝の時間を中心に読書をして、読んだ本の中からおすすめの本を一冊選び、「おすすめ本カード」に書いて友達に紹介する取組をしました。「おすすめ本カード」の中からクラス5名を選出し、図書室前に掲示しました。



おすすめの本カード

子供たちは、誰がクラスの代表になったのか、どんな本が紹介されているのか興味津々で図書室前に集まっています。図書室には、子供たちがおすすめした本が飾られ、すぐに借りられるようになっています。この活動を通して、読書の幅がさらに広がっていくことを願っています。

稲作体験(田植え)：5年生・・・6月8日(土)

羽村市内の5年生が根がらみ前水田で田植えを行いました。農業委員や小作地区委員の方々の指導・助言のもと、横一列に並んで一步一步後退しながら、丁寧に苗を植えました。2時間弱の作業でしたが、割り当てられた苗をすべて植えることができました。とても貴重な体験になりました。学校では、バケツに稲を植えて育てていきます。

※学校支援ボランティアへのご協力、ありがとうございました。



田植え体験：根がらみ前水田

水泳指導開始・・・6月17日(月)～



水泳指導の様子

今年度の水泳指導が始まりました。1回目の水泳指導では、わくわくする気持ちを抑え、丁寧に約束や人数確認(バディー)の方法を確認しました。安全管理を第一に、児童が目標に向かって泳力を高められるように指導してまいります。保護者の皆様には、持ち物の準備や朝食を取ること、睡眠時間の確保などのご協力をお願いいたします。

～ 遠足や移動教室の様子 ～

ヒノトントンZOO(羽村市動物公園)：1年生・・・6月11日(火)



小学校に入学して初めての遠足でした。電車を使いながら、歩いて動物公園に行きました。園内は、前半を担当の先生と歩き、後半は、チェックポイントを回りながら、班ごとに歩きました。「勝手な行動はせず、班の友達と仲良く行動すること」の約束を守り、全員がチェックポイントを通過し、ゴールまで歩くことができました。羽村駅から動物公園まで、少し長い距離を歩いたため、学校へ向かう帰り道が心配でした。子供たちは、弱音を言うこともなく、最後までしっかりと行動し帰校することができました。

名栗移動教室：5年生・・・6月3日(月)～4日(火)

1日目は、伊豆が岳の登山やグループチャレンジを行いました。山歩きでは、急な上り坂や下り坂があり時間がかかる場面もありました。子供たちは、友達同士励ましの声をかけながら、全員自分の力で最後まで歩くことができました。午後は、雨が降り始めたため、グループチャレンジは、館内を使いながら室内用のプログラムを楽しむことができました。

2日目は、プラネタリウムを鑑賞したり、クラフト体験をしたりしました。帰校式では、宿の方に、気持ちの良い挨拶ができていたことや常にトイレのスリッパがきれいに揃えられていたことを褒めていただきました。



～ お願いとお知らせ ～

・遅刻、早退について

通院や家庭の事情で遅刻、早退する場合は、必ず保護者の送り迎えをお願いします。安全面から児童だけで登校や下校をすることはできませんので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

・熱中症対策について

気温の高い日が増えてきました。登下校中の水分補給について、必要な場合は、安全に配慮しながら積極的に行うことを指導しています。水筒の中身は、熱中症予防効果の高い飲料水も可としています。また、体温の上昇を抑えるために首元に巻くネッククーラーは、天候や登下校中の道のりを考慮して家庭の判断が必要であれば使用させてください。教室では外しておきます。(ハンディファンは、使用不可です。)子供たちが熱中症にならないようご家庭でも熱中症対策をお願いします。併せて、帽子をかぶって登下校することもお勧めしています。

「給食費の口座引落」のお知らせ

引落日：7月分・・・7月31日(水) 9月分・・・9月30日(月)

※8月の口座引落はありません。

料 金：低学年 3,870円・中学年 4,040円・高学年 4,210円

手数料：農協・信金・労金は11円 郵便局は10円が上記の値段に加わります。